

(8) 村のれきし年表

時代	西れき	おもなことがら
奈良 ・ 安土・ 桃山	728	○白河軍団がおかれた。
	1051	○前9年の役おこり、源義家があべ氏をやぶった。
	1189	○源頼朝、奥州藤原氏をほろぼした。
	1333	○結城宗広の弟、祐義、片見ひこ三郎といい、形見館をきずく。
江 ・ 戸	1741	○このころ釜子地方は高田はんの支配にあった。
	1783	○この年天明の大ききんがあった。
	1798	○浅川そう動があった。
	1809	○陣屋を浅川から釜子にうつした。
	1830	○このころ天保のききんがあり、不作がつづいた。
明 ・ 治 ・ 大 ・ 正 ・ 昭 ・ 和	1868	○ぼしん戦争で釜子じんやは焼打ちにあい、落陣した。
	1874	○釜子小、小野田小が創立された。
	1887	○白河に汽車が走った。(東北本線)
	1916	○白河とたなくら間を汽車が走った。(白棚鉄道)
	1918	○白河と石川間にトテ馬車が走った。
	1924	○白河と竹貫の間、乗合自動車が開通した。
	1934	○石川、浅川間に水郡線が通った。
	1941	○釜子小、小野田小は国民学校に名がかわった。
	1947	○ふたたび小学校と名があらためられ、あらたに釜子中、小野田中ができた。
	1955	○釜子村、小野田村が合併し東村が生まれた。小貫、大田わ地区は石川ぐん浅川町に編入された。
	1961	○釜子中、小野田中が統合してあらたに東中ができた。
1964	○東村立幼稚園ができた。	
1968	○母畑地区開拓じぎょうが、国営総合パイロットじぎょうとしてはじめられた。	